

主な目的

植栽基盤の改善・改良による雨水流失の軽減、流域治水とともに、樹木の樹冠の最大化・適正化でヒートアイランド現象の緩和。緑陰ベンチによるにぎわい、散歩場になる。

効果

1. 植栽基盤が透水性・保水性の良くなり、街路が流域治水の場となる。
2. 樹木が健全に生育可能となり、ヒートアイランド現象緩和に貢献する。
3. 緑とベンチでまちなかウォークアブル、にぎわいのある空間となる。

技術の概要

■技術のポイント

- ・ エコグリーンロードとは、雨水貯留機能を有した植栽基盤（グリーントレンチ）を使用した街路樹で、高齢者などが休憩できるベンチ（グリーンベンチ）のある緑道。植栽基盤の最大化・連続化と樹冠の最大化・適正化、健康と環境に配慮した街路空間。

■技術の内容

- ・ 「グリーントレンチ」とは、土壌への雨水浸透・雨水貯留と、樹木の活性化を考慮した植栽基盤に敷設する通気・透水管。「グリーンパープ」とは耐圧根系誘導材を使用した路盤の透水性舗装。「グリーンベンチ」とは樹木や草花・ハーブと一体となったベンチ。

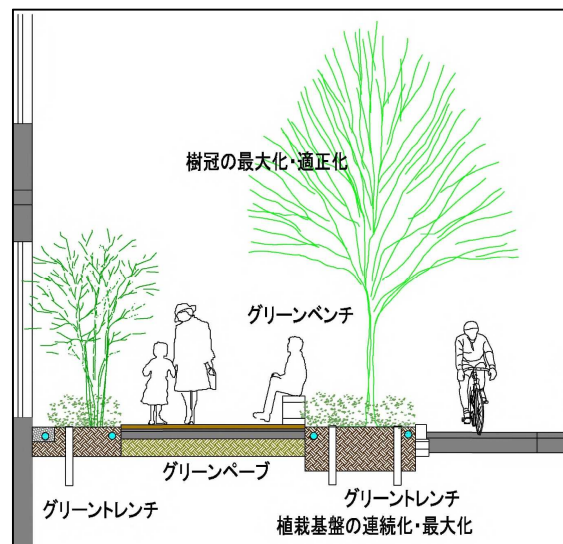


写真 GRCグリーンベンチ

技術の適用場所

都市緑化、緑道、道路

適用事例

提案中

問い合わせ先

団体名：エコ&ヒーリングランドスケープコンサル

連絡先：エコ&ヒーリングランドスケープコンサル 樹木医・環境造園家 豊田幸夫 (メール: ytoyoda.eco.hlhc@gmail.com)